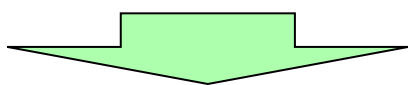


十和田市(東北圏ブロック)

【計画期間 22年3月～27年3月】

- ・幕末 : 新渡戸傳らにより開拓された計画都市
- ・明治期 : 陸軍軍馬補充部がおかれ中核的都市として発展
- ・現在 : 観光地十和田湖を抱える上十三地域の最大都市

- 郊外大型店の出店、既存大型店の撤退等により、空き店舗の増加、中心市街地での人口減少など活力が減少
- 中心部に公共施設や各種サービス施設が集中する利便性の高さがまちなか居住につながっていない
- 十和田市現代美術館(H20.4開館)の来館者(年間約20万人)が市街地に出て行かずにぎわいにつながっていない



○ 居住人口

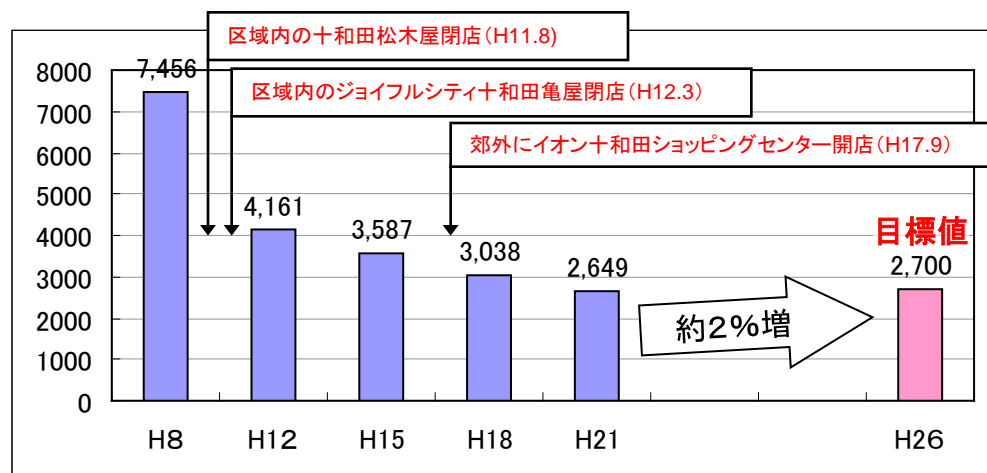
H10: 3,537人 → H21: 2,697人(▲23.8%)

○ 歩行者・自転車通行量の減少

H8: 7,456人 → H21: 2,649人(▲64.5%)

目標	指標	現況値(H21)	目標値(H26)
芸術・歴史・文化を活かした魅力的な市街の形成	歩行者・自転車 通行量 (4地点・平日/休日の加重平均)	2,649人	2,700人
元気なお店や快適な空間づくりと、安心安全な生活環境の整備	居住人口	2,697人	2,740人

【歩行者・自転車通行量の動向と数値目標】



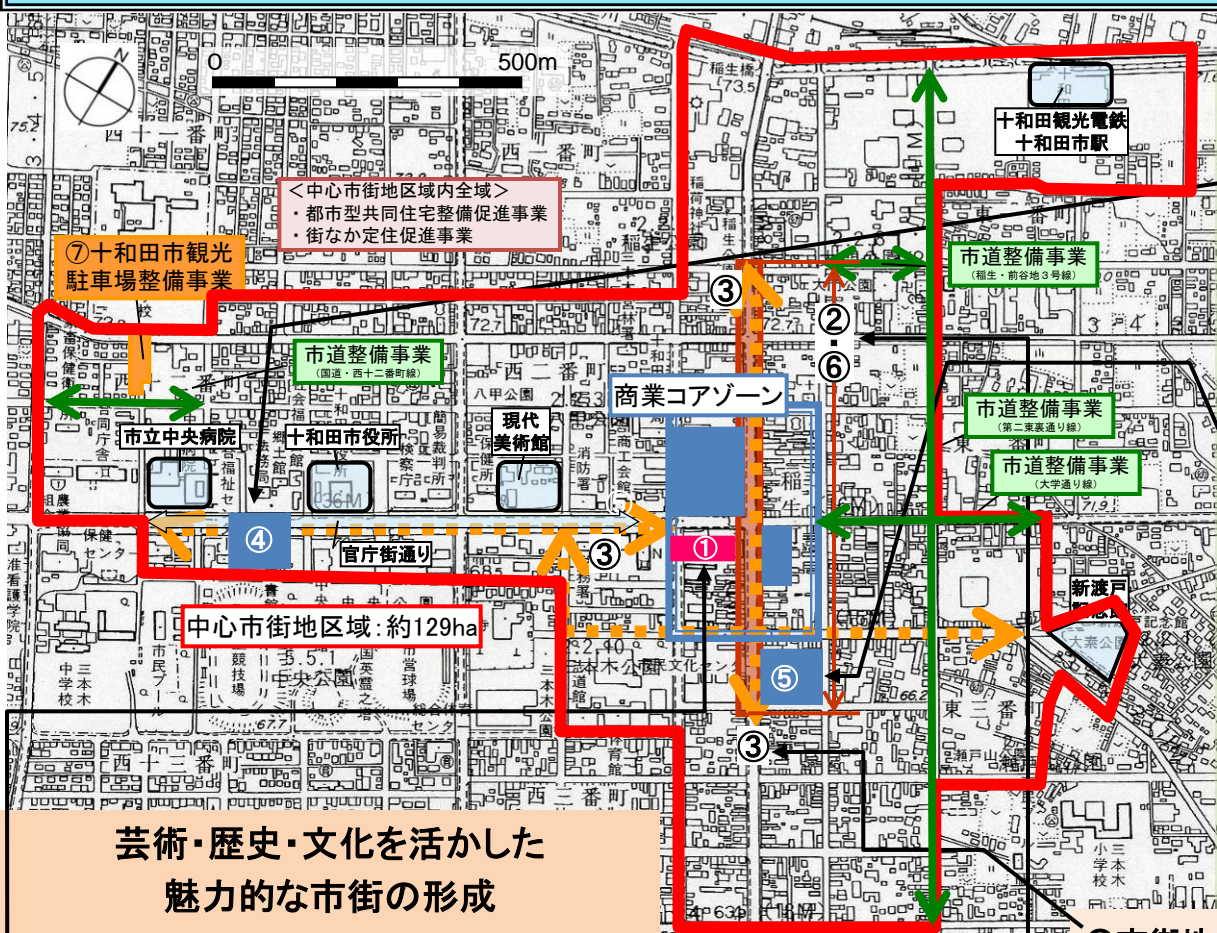
■ 現代美術館と連携し、商店街への現代アート作品の設置や商業施設へのギャラリー整備、サインの設置、アートイベントの実施等により、回遊性の向上を目指す。

⇒ 主要事業: ① Art Station TOWADA整備事業、② アートファニチャー整備事業、③ 歩行者サイン整備事業など

■ 中心部への図書館施設、交流・福祉施設、都市型共同住宅整備促進事業等の集中的整備により、まちなかのぎわい創出、居住推進を目指す。

⇒ 主要事業: ④ (仮称)教育プラザ整備事業、⑤ (仮称)市民交流プラザ整備事業など

十和田市中心市街地活性化基本計画の事業概要



元気なお店や快適な空間づくり、安全安心な生活環境の整備

○(仮称)教育プラザ整備事業(④)
官庁街通り地区に**図書館等の教育機能を持つ施設**の整備。



○(仮称)市民交流プラザ整備事業(⑤)
商店街地区に**交流、福祉機能等を持つ複合公共施設**の整備。



○市道整備事業(4路線)
買い物客や観光客の**安全性を確保**するため、狭隘である歩道を**拡幅**などの整備。

○都市型共同住宅整備促進事業・街なか定住促進事業
民間事業者が実施する**区域内の優良共同住宅の建設費補助**や**区域内に転居、転入する若年世帯等の家賃補助**を実施。

芸術・歴史・文化を活かした魅力的な市街の形成

○ArtsTowadaプロジェクト・プランの策定
現代美術館を核として来訪者を中心市街地へと誘導し、交流促進を図るため、**アートによる街づくりの行動計画**を策定し、活性化事業に反映。

○ Art Station TOWADA整備事業(①)
観光情報の提供や物産振興、交流機能を併せもち、**現代アートの要素も配置した複合型商業施設**を整備。



○アートファニチャー整備事業(②)
街並みの一体感をつくりながら**景観の向上**を図るため、**ファニチャー**等を設置。



○市街地歩行者サイン整備事業(③)
特徴的な歩行者サインで中心市街地内の**主要な施設等**を結び、**来街者の回遊**を促す。



○アート賑わいチャネリング事業(⑥)
美術館等への来館者へ **各個店の独自サービス**提供を中心として、**馬車運行、アートや食のイベント**を開催し、観光客を商店街に誘導。

○十和田市観光駐車場整備事業(⑦)
十和田市のシンボルロードである官庁街通りの**イベント等**に対応した**観光駐車場**を整備。

